

武雄神社 創建一二〇〇年記念事業

参道・石段改修拡張工事 ご奉賛（寄附）のお願い

武雄神社は、『武雄神社本紀』によれば奈良時代の天平七年（七三五）に創建されたと伝えられる悠久の歴史を有する神社でございます。平安時代での旧社格は、九州地区の統治組織「大宰府」の府社とされ、祭礼（さいらい）に国使が参向するなど、杵島郡の鎮守として郡民の崇敬をうけていたばかりではなく、肥前に於ける名社として深く重んぜられてきました。

鎌倉中期の元寇では、未曾有の国難に際し、伏見天皇より異国降伏の祈祷の『繪旨』を賜る光栄に浴するなど、国家的な存在であり『九州五社ノ内』とも称され、九州の宗社として隆々と栄えた時代もありました。

近年は皆様方のご協力により弥々境内整備も進み社格にふさわしくなりつつあり、御神威高揚と共に社頭の賑わいも年々隆盛に赴いておりますことは大変喜ばしい限りであります。

しかしながら、石段や参道、建造物の老朽化など、まだまだ課題が多く見受けられます。

特に、石段は経年劣化による歪みや傷みが激しく、また踏面も踵が出るほど狭く参拝者にご不便をお掛け致して居る処であります。

就きましては、参道の美化と参拝者が安心してお参り戴けます様、足元の安全確保の為に永年の懸案でありました石段の改修を行う運びとなりました。

また、令和七年は創建一二九〇年の節目を迎え、これを機に一二三〇〇年祭に向けての第一期事業として、二ノ鳥周辺の石段及び参道の拡張工事、鳥居の移設工事を記念事業とし計画した次第であります。

百年に一度の佳年をお祝いすると共に、何卒趣旨をお汲み取り下さいまして、格別のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和六年五月一日

武雄神社 宮司 武雄哲司

一、事業概要 ニノ鳥居周辺参道・石段・石造太鼓橋の拡張工事

二、総事業費 四千三百萬円

三、工期 令和六年六月から令和六年十月上旬迄

四、奉賛の方法 左記の申込用紙にご記入に上、奉賛金と一緒に現金書留に同封して当神社へお送りいただくかご持参ください。

五、奉賛返礼記念品 千八四三―〇〇二二 佐賀県武雄市武雄町武雄五三二七

| 御朱印 | 奉賛の証 | 御朱印帳 | 御芳名を本殿に永久保存 | 御芳名を参道に掲示 | 竣工祭参列の御案内 | 十萬円以上 | 五萬円以上 | 三萬円以上 | 五千元以上 | 千円以上 |
|-----|------|------|-------------|-----------|-----------|-------|-------|-------|-------|------|
| | | | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ |



※切り取り

武雄神社 創建一二〇〇年記念事業 奉賛申込書

申込日

令和 年 月 日

氏名
または
法人名

〒

住所

電話

奉賛金額

円